



## 2024年3月期 決算補足説明資料

2024年5月15日  
株式会社カクヤスグループ  
(証券コード：7686)

# 1. 2024年3月期 ハイライト

## 総括

- **連結業績は増収増益、過去最高を更新。**
  - ✓ 飲食店向け販売が全体をけん引、家庭向け販売も堅調。
  - ✓ 業績予想に対しては、大きな乖離なく着地。

## 2. 2024年3月期 決算概要

## 2. 2024年3月期 決算概要 — 連結損益計算書

- 増収増益、各段階利益で前期を大幅に上回り、過去最高を更新。

(単位：百万円)

科目名	2023年 3月期	2024年 3月期	前年比		【参考】2019年3月期※	
			増減額	増減率	実績	2024年3月期比
売上高	114,960	<b>129,406</b>	+14,445	+12.6%	108,715	+19.0%
売上総利益	25,054	<b>29,533</b>	+4,478	+17.9%	21,562	+37.0%
	21.8%	22.8%			19.8%	
販売費および 一般管理費	24,251	<b>26,666</b>	+2,415	+10.0%	19,782	+34.8%
	21.1%	20.6%			18.2%	
営業利益	803	<b>2,867</b>	+2,063	+257.0%	1,779	+61.1%
	0.7%	2.2%			1.6%	
経常利益	800	<b>2,878</b>	+2,078	+259.8%	1,806	+59.4%
	0.7%	2.2%			1.7%	
親会社株主に帰属する 当期純利益	609	<b>1,595</b>	+985	+161.9%	745	+113.9%
	0.5%	1.2%			0.7%	

※2019年3月期は金融商品取引法に基づく連結財務諸表は作成しておりません。

## 2. 2024年3月期 決算概要 – 連結売上区分

- 各売上区分で前年超え、合計では2桁伸長。  
うち、飲食店向けは客数及び客単価が前年を上回り、全体をけん引。

(単位：百万円)

	2023年 3月期	2024年 3月期	前年比	増減率		
			増減額	売上高	顧客数	客単価
飲食店向け	76,489	<b>89,162</b>	+12,673	<u>+16.6%</u>	<u>+3.0%</u>	<u>+13.1%</u>
	宅配	20,377	+1,453	+7.1%	▲0.3%	+7.4%
	店頭	16,327	+218	+1.3%	▲3.4%	+4.9%
家庭向け	36,704	<b>38,377</b>	+1,672	<u>+4.6%</u>	▲2.3%	+7.0%
卸その他	1,766	<b>1,866</b>	+100	<u>+5.7%</u>	—	—
合計	114,960	<b>129,406</b>	+14,445	<u>+12.6%</u>	—	—

【参考】2019年3月期※	
実績	2024年 3月期比
77,191	+15.5%
15,978	+36.6%
15,088	+9.7%
31,066	+23.5%
457	+308.2%
108,715	+19.0%

※2019年3月期は金融商品取引法に基づく連結財務諸表は作成しておりません。

## 2. 2024年3月期 決算概要 – 販売費及び一般管理費

(単位：百万円)

	2023年 3月期	2024年 3月期	増減額	増減率
人件費	13,814	<b>15,585</b>	+1,770	+12.8%
給与及び賞与、各種手当	13,534	<b>15,209</b>	<u>+1,675</u>	+12.4%
採用費	280	<b>376</b>	+95	+34.2%
広告・販促費	489	<b>760</b>	+270	+55.3%
広告宣伝費	238	<b>467</b>	<u>+228</u>	+95.5%
販売促進費	250	<b>293</b>	+42	+17.0%
その他費用	9,947	<b>10,320</b>	+373	+3.8%
業務委託費	2,509	<b>2,632</b>	<u>+122</u>	+4.9%
配送費	859	<b>960</b>	<u>+100</u>	+11.7%
賃借料	2,653	<b>2,782</b>	<u>+129</u>	+4.9%
保守修繕費	416	<b>489</b>	+72	+17.5%
旅費交通費	440	<b>490</b>	+50	+11.4%
その他	3,067	<b>2,965</b>	▲102	▲3.3%
販売費及び一般管理費	24,251	<b>26,666</b>	+2,415	+10.0%

### ■ 給与及び賞与 +1,675百万円

- ・飲食店向け販売の拡大による配達人員増。
- ・10月に賃金改定を実施。

### ■ 広告宣伝費 +228百万円

- ・上期にテレビCMプロモーションを実施。

### ■ 業務委託費、配送費 +222百万円

- ・飲食店向け販売の拡大により一部配送を委託。

### ■ 賃借料 +129百万円

- ・小型出荷倉庫の拠点増。

## 2. 2024年3月期 決算概要 – 営業利益以下

(単位：百万円)

	2023年 3月期	2024年 3月期	増減額	増減率
営業利益	803	<b>2,867</b>	+2,063	+257.0%
営業外収益	84	<b>91</b>	+6	+7.4%
営業外費用	87	<b>79</b>	▲8	▲9.3%
経常利益	800	<b>2,878</b>	+2,078	+259.8%
特別利益	16	<b>335</b>	<u>+318</u>	+1882.2%
特別損失	518	<b>461</b>	▲56	▲11.0%
税引前利益	299	<b>2,753</b>	+2,454	+820.6%
法人税等	▲310	<b>1,157</b>	+1,468	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	609	<b>1,595</b>	+985	+161.9%

### ■ 特別利益 **+318 百万円**

- 配送センター 固定資産売却益を計上。



## 2. 2024年3月期 決算概要 – 連結貸借対照表

(単位：百万円)

資産の部	2023年 3月末	2024年 3月末	増減額
流動資産	19,462	<b>21,423</b>	+1,960
現金及び預金	2,727	<b>3,175</b>	+447
売上債権	8,884	<b>9,818</b>	+934
商品	5,191	<b>5,652</b>	+461
未収入金	1,356	<b>1,540</b>	+184
その他	1,303	<b>1,236</b>	▲66
固定資産	13,623	<b>12,530</b>	▲1,093
有形固定資産	7,511	<b>7,255</b>	▲256
無形固定資産	1,777	<b>1,710</b>	▲66
投資その他の資産	4,335	<b>3,564</b>	▲770
資産合計	33,086	<b>33,953</b>	+867

負債の部	2023年 3月末	2024年 3月末	増減額
負債	30,271	<b>29,837</b>	▲433
仕入債務	15,609	<b>16,007</b>	+398
有利子負債	10,469	<b>8,618</b>	▲1,851
短期借入金	7,205	<b>6,382</b>	▲822
長期借入金	3,261	<b>2,231</b>	▲1,029
リース債務	2	<b>3</b>	+0
その他負債	4,192	<b>5,211</b>	+1,019
純資産の部	2,815	<b>4,116</b>	+1,300
株主資本	2,692	<b>3,969</b>	+1,276
その他包括利益 累計額	122	<b>146</b>	+24
負債・純資産合計	33,086	<b>33,953</b>	+867

**【資産】 +867百万円**

- 売上債権 +934百万円  
↳ 飲食店向け販売の拡大

**【純資産】 +1,300百万円**

- 株主資本 +1,276百万円  
↳ 利益増、配当金支払
- 自己資本比率12.1%  
(前期末8.5%)

## 2. 2024年3月期 決算概要 – 連結キャッシュフロー計算書

- 営業キャッシュフローは利益増による良化。  
投資キャッシュフロー（その他）は、配送センター土地売却によるもの。

（単位：百万円）

	2023年3月期	2024年3月期	増減額
営業活動によるキャッシュフロー	2,531	<b>2,773</b>	+242
税金等調整前当期純利益	299	<b>2,753</b>	+2,454
減価償却費、のれん償却費	857	<b>893</b>	+36
減損損失	509	<b>432</b>	▲77
売上債権の増減額	▲3,297	<b>▲932</b>	+2,365
棚卸資産の増減額	▲916	<b>▲464</b>	+452
仕入債務の増減額	4,306	<b>482</b>	▲3,824
その他	773	<b>▲391</b>	▲1,164
投資活動によるキャッシュフロー	▲1,149	<b>▲195</b>	+954
固定資産の取得による支出	▲1,174	<b>▲1,209</b>	▲35
その他	25	<b>1,014</b>	+989
財務活動によるキャッシュフロー	▲1,420	<b>▲2,136</b>	▲716
現金及び現金同等物の増減	▲38	<b>441</b>	+479
現金及び現金同等物の期首残高	2,748	<b>2,709</b>	▲39
現金及び現金同等物の期末残高	2,709	<b>3,151</b>	+442

### 3. 売上区分別概要

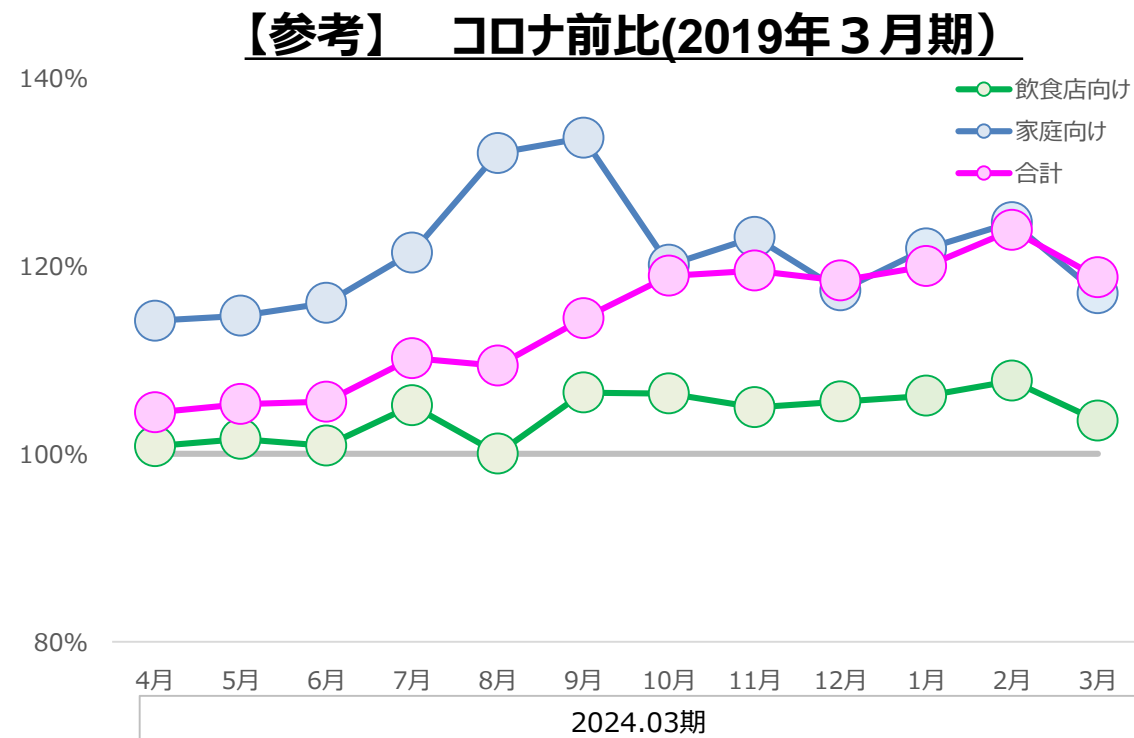
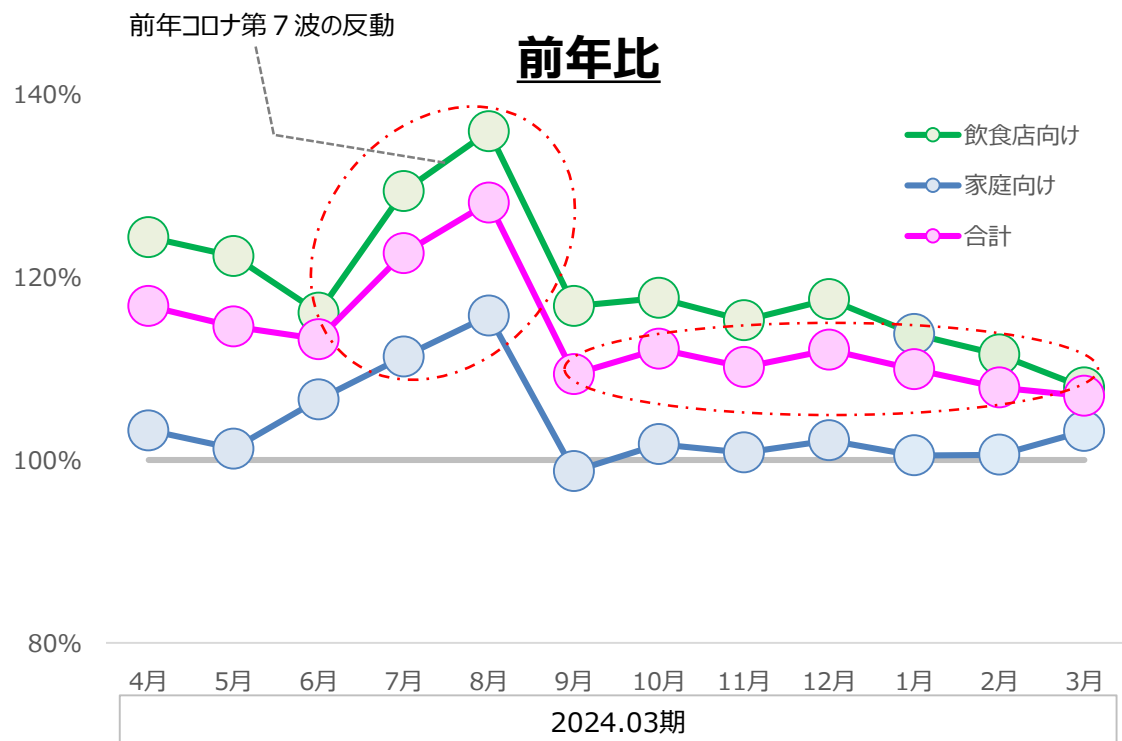
※ カクヤスグループの中核会社である「株式会社カクヤス」を中心にご説明させていただきます。

# 3. 売上区分別概要

## 全体

### ◆ カクヤス社の売上速報値

- 飲食店向け、家庭向けともに前年及びコロナ前（2019年3月期）を超えて堅調に推移。

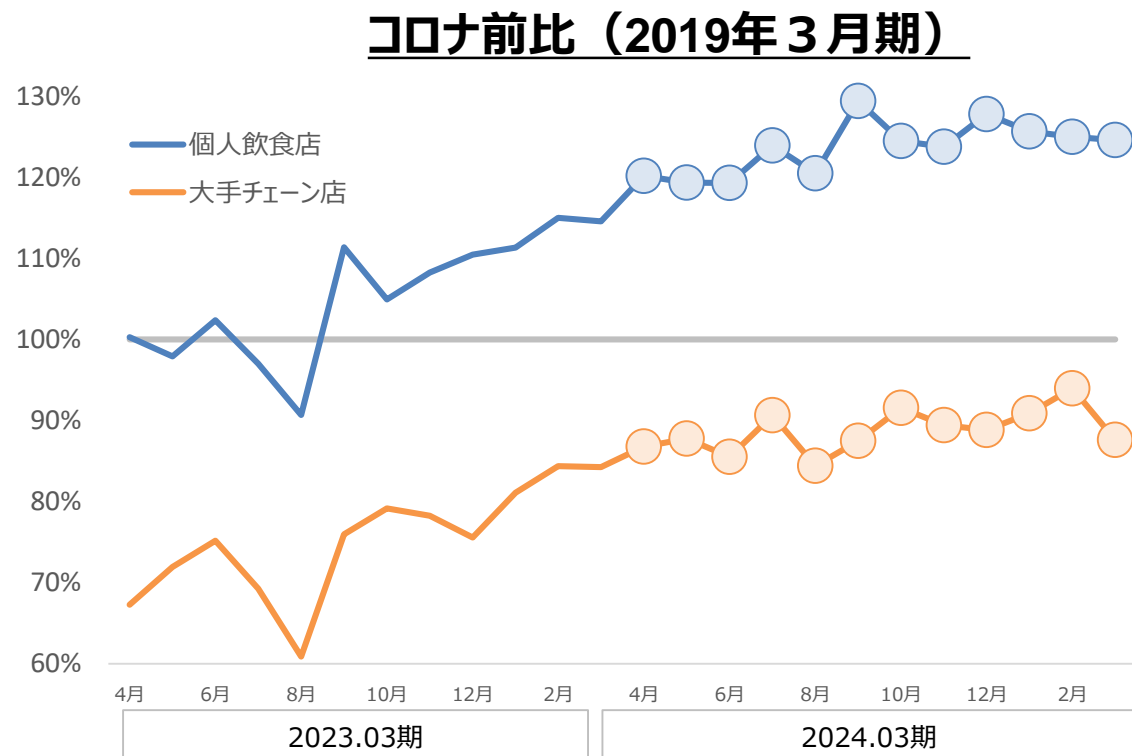
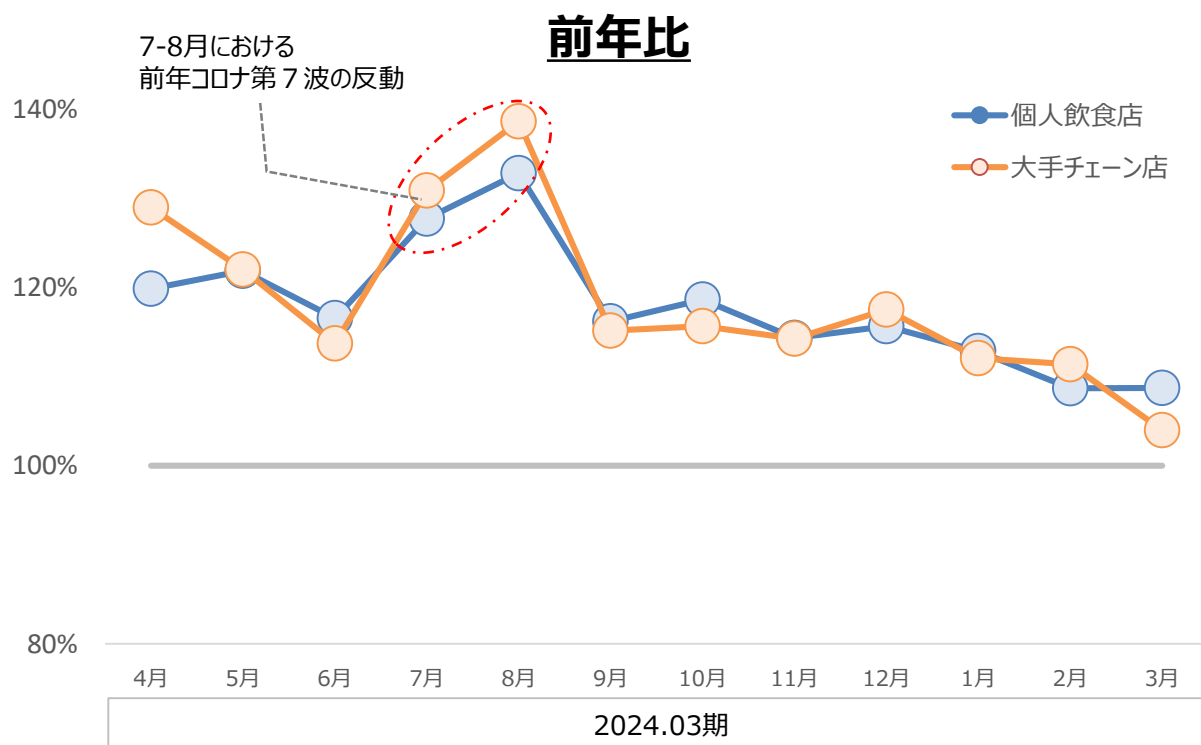


# 3. 売上区分別概要

## 飲食店向け

### ◆ 業態別の動向（売上推移）

- 個人飲食店は新規獲得、外飲み需要の回復によりコロナ前水準を超えて着実に伸長。
- 大手チェーン店も着実に伸長しているものの、コロナ前水準まで戻りきれていない。

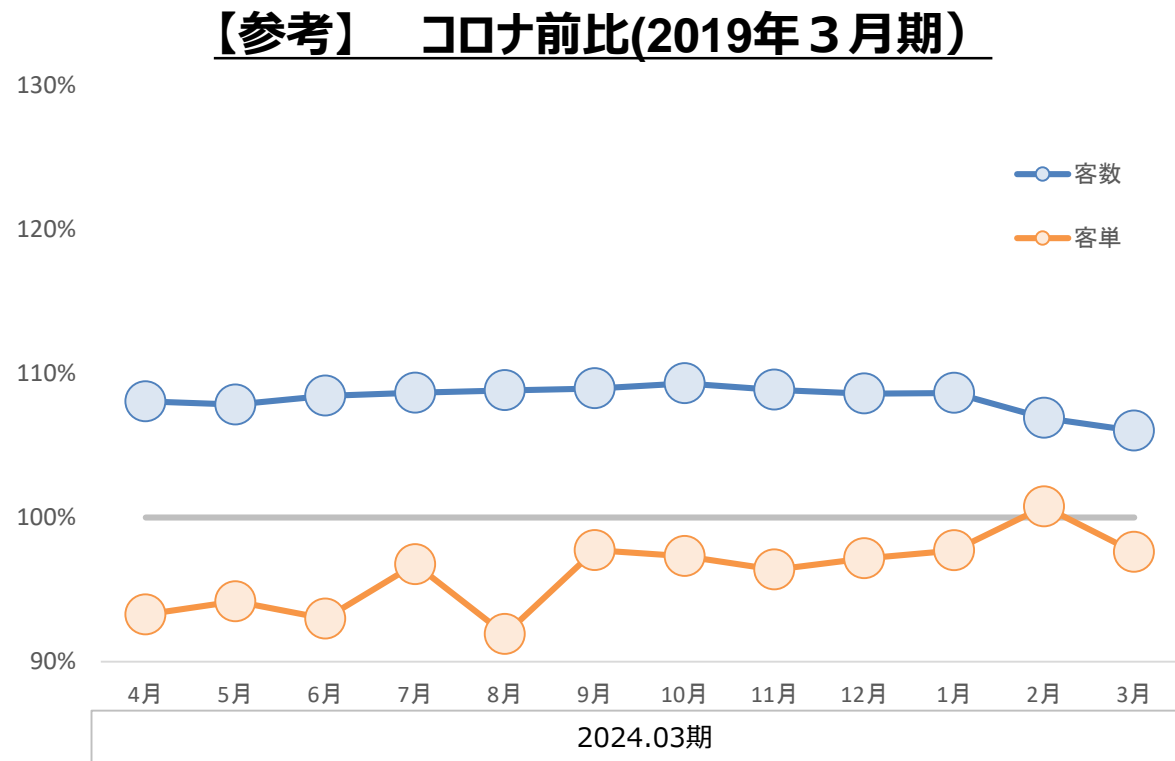
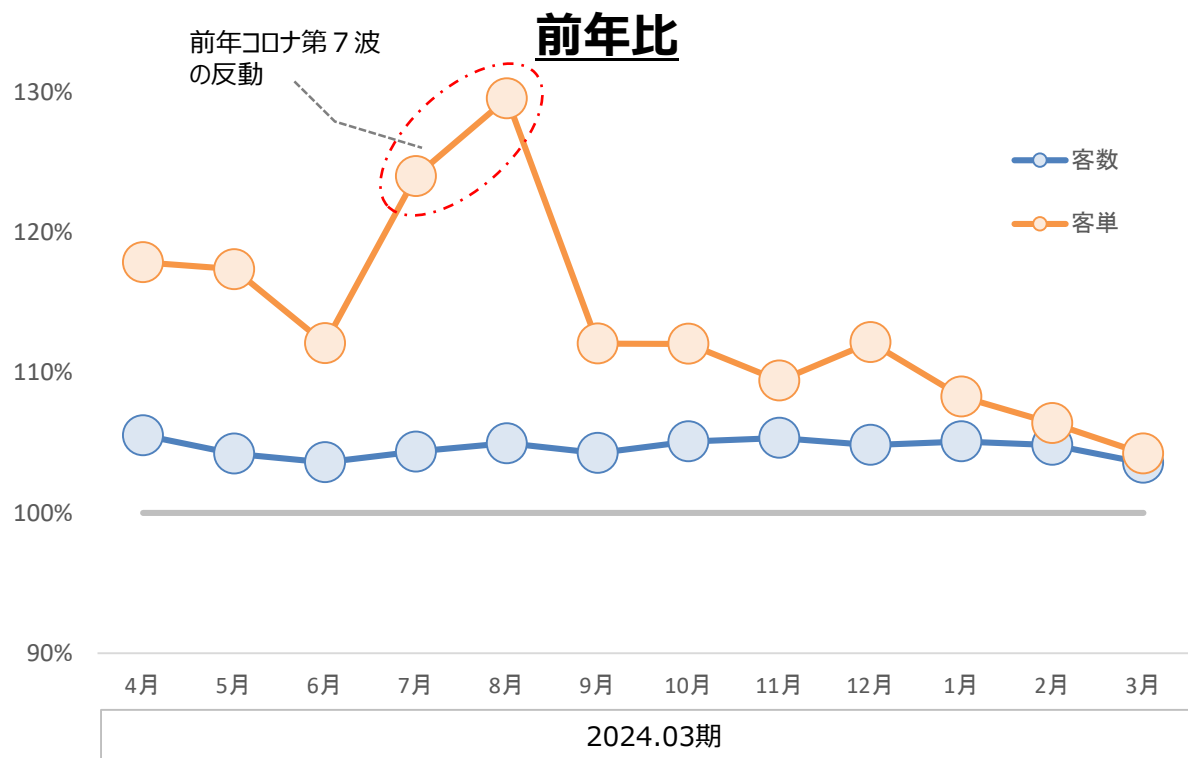


# 3. 売上区分別概要

## 飲食店向け

### ◆ 客数・単価推移

- 客数は個人飲食店を中心に新規獲得が進み、客単価は12月年末飲食需要も寄与し、前年を上回って堅調に推移。



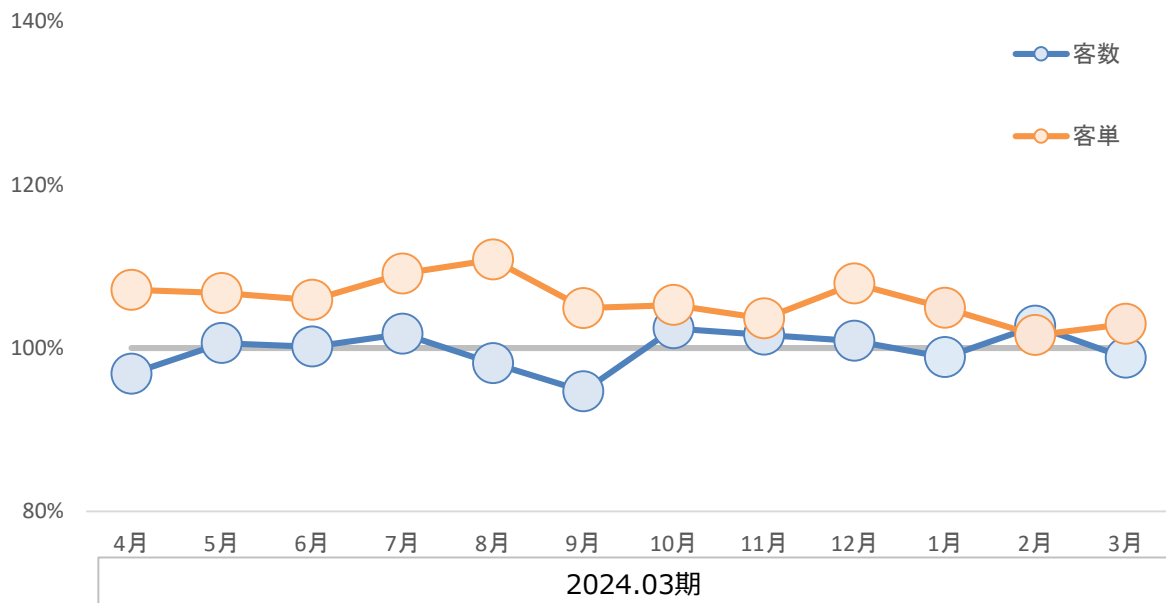
# 3. 売上区分別概要

## 家庭向け | 宅配

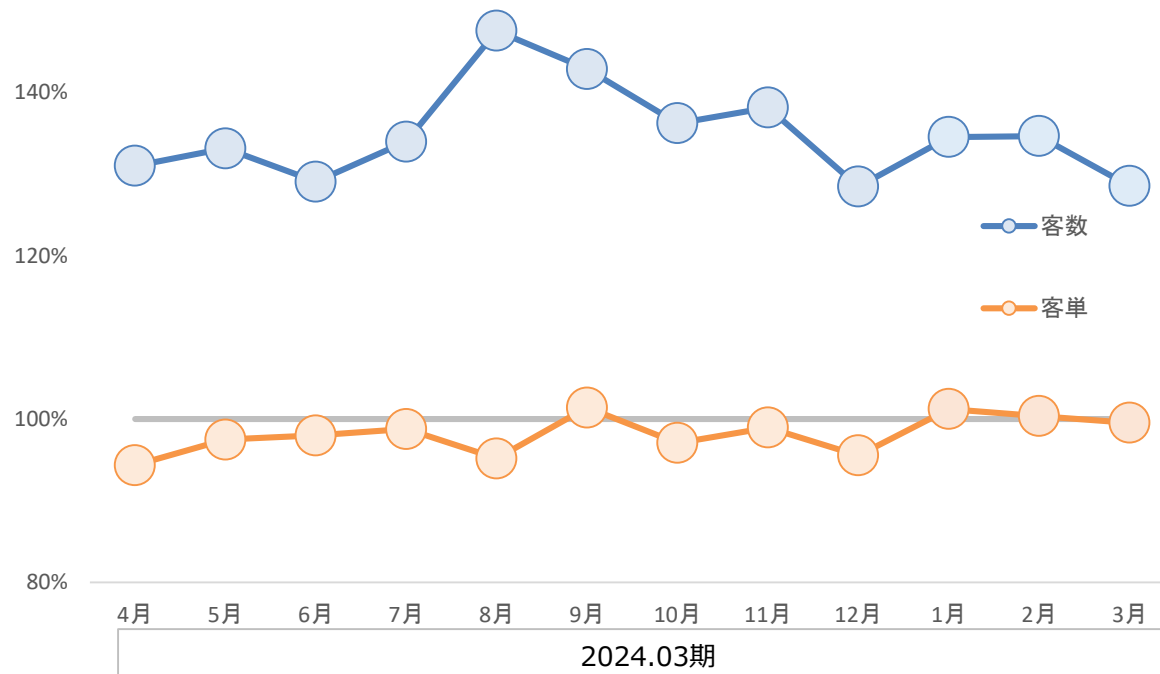
### ◆ 客数・単価推移

- 客数は維持しつつ、イベント需要や法人宅配需要が増え、客単価は上昇。

**前年比**



**【参考】 コロナ前比(2019年3月期)**



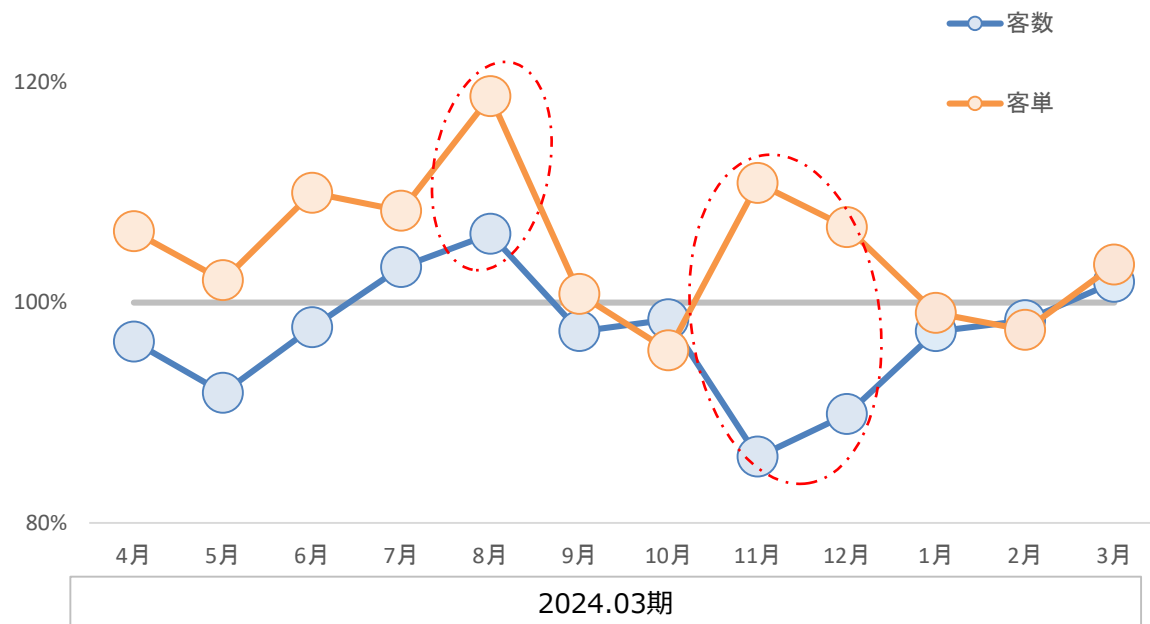
# 3. 売上区分別概要

## 家庭向け | 店頭

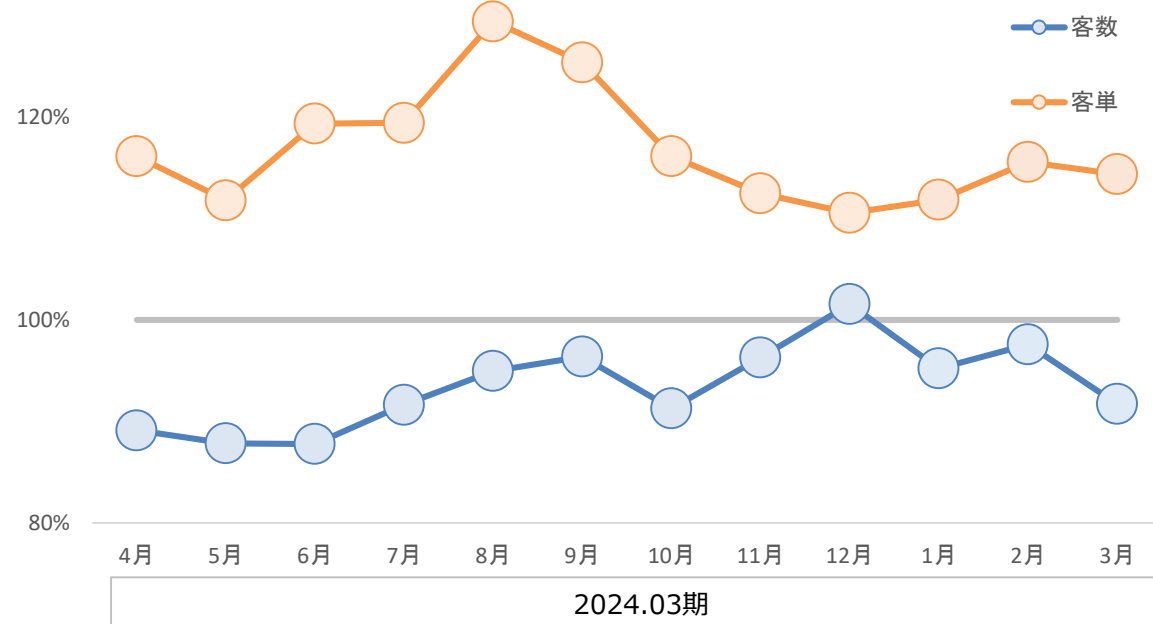
### ◆ 客数・単価推移

- 客数は地域キャンペーンの前年実施の反動もあり、前年を下回った。
- 客単価は、地域キャンペーンによるまとめ買い需要や、単価の高い法人需要が寄与したことにより、前年を上回って推移。

前年比



【参考】 コロナ前比(2019年3月期)





## 4. 2025年3月期 通期連結業績予想

## 4. 2025年3月期 通期連結業績予想 – 通期連結業績予想

- 増収増益、各段階利益で前年を上回り、さらなる最高益を計画。

(単位：百万円)

科目名	2024年 3月期	2025年 3月期	増減額	増減率
売上高	129,406	<b>137,400</b>	+7,993	+6.2%
営業利益	2,867 2.2%	<b>3,600</b> <b>2.6%</b>	+732 -	+25.6% -
経常利益	2,878 2.2%	<b>3,600</b> <b>2.6%</b>	+721 -	+25.0% -
親会社株主に帰属 する当期純利益	1,595 1.2%	<b>2,200</b> <b>1.6%</b>	+604 -	+37.9% -

2025年3月期	
上期	下期
67,430	69,970
1,330 2.0%	2,270 3.2%
1,310 1.9%	2,290 3.3%
810 1.2%	1,390 2.0%

## 4. 2025年3月期 通期連結業績予想 – 売上区分別売上高

- 個人飲食店を中心とした飲食店向け販売の拡大、全体をけん引。

(単位：百万円)

	2024年 3月期	2025年 3月期	増減額	増減率	構成比	
					2024年 3月期	2025年 3月期
飲食店向け	89,162	<b>95,846</b>	+6,684	+7.5%	68.9%	69.8%
宅配	21,830	<b>23,292</b>	+1,461	+6.7%	16.9%	17.0%
店頭	16,546	<b>16,637</b>	+91	+0.6%	12.8%	12.1%
家庭向け	38,377	<b>39,930</b>	+1,552	+4.0%	29.7%	29.1%
卸その他	1,866	<b>1,623</b>	▲243	▲13.1%	1.4%	1.2%
合計	129,406	<b>137,400</b>	+7,993	+6.2%	100.0%	100.0%

## 5. 2025年3月期 重点施策

## 5. 2025年3月期 重点施策

2025年  
3月期  
重点施策

- ① 個人飲食店を中心とした、販売の拡大
- ② 物流体制の強化
- ③ P B 商品と酒類以外の商品販売を拡大
- ④ D X（デジタル・トランスフォーメーション） 推進
- ⑤ サステナビリティの推進

## 5. 2025年3月期 重点施策

### ① 個人飲食店を中心とした、販売の拡大

- 当社の特徴である、時間帯お届けサービスを強化し、個人飲食店の利便性を向上させ、さらなる販売を拡大していく。

#### 新規顧客獲得

- パートナー企業との連携による相互送客を強化。
- 飛び込みによる営業活動を強化。  
→ 取引先数の増加により売上を拡大。

#### 購入単価の向上

- 酒類以外の商材の提案強化。  
(食用油や調味料、米、氷など)
- P B 商材の提案強化。  
(シャンパン、飲料等)  
→ 購入点数の増加により売上を拡大。



# 5. 2025年3月期 重点施策

## ② 物流体制の強化

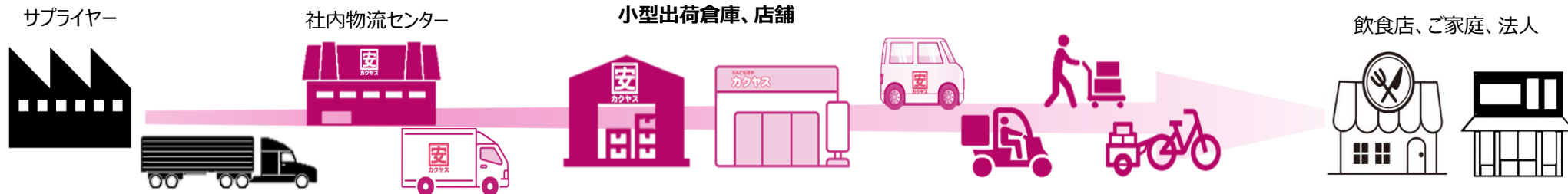
- 受注件数の増加に対応するため、配達体制を拡充し、物流体制を強化。
- 多様な配達人財の確保。

### 物流体制の強化

- 出店を含む拠点再編により、10拠点増強。
- 配達網の最適化と配達効率化。

### 配達人財の確保

- リヤカーや台車を含む、配達手段の拡充。
- 配達人財の多様化。



## 5. 2025年3月期 重点施策

### ③ P B商品と酒類以外の商品販売を拡大

- 低価格で高付加価値のP B商品をお客様へ提案することで、商品群としての魅力度向上と利益率をアップ。
- 酒類以外の品揃えを増やすことで、お客様の購買機会を向上。

P B商品、  
酒類以外の  
商品の拡大

- 宅配機能を活かした「重い、かさばる」に対するP B商品開発。
- 生活必需品を中心とした、酒類以外商品の拡大。





## 5. 2025年3月期 重点施策

### ④ DX（デジタル・トランスフォーメーション）推進

- お客様の利便性向上による売上拡大のための投資。
- デジタル化、システム化によるオペレーションの効率化。

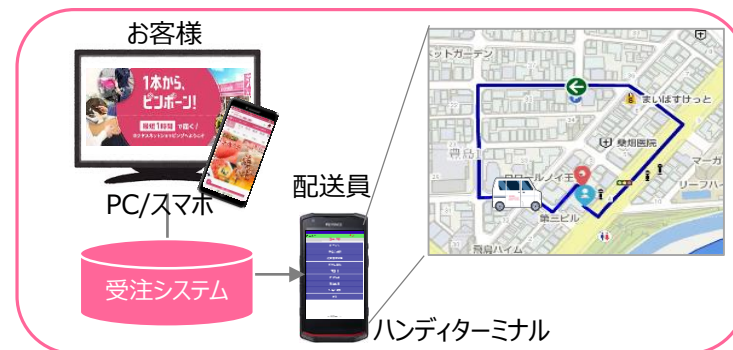
#### お客様サービスの 利便性向上

- なんでも酒やカクヤス公式アプリやE Cサイト改修。
- 飲食店向け酒類販売サイト改修。
- I D決済、軒先決済、自社ポイントの導入  
→ 新規獲得・購入転換率・継続率の向上による  
売上拡大。



#### オペレーションの 効率化

- 配達管理等、社内プロセスのシステム化。
- 次世代企業システムの設計、開発。  
→ デジタル化、システム化による  
収益体質の改善。



# 5. 2025年3月期 重点施策

## ⑤ サステナビリティの推進

### ◆ 環境：サーキュラーエコノミー（資源循環）の推進

#### 廃食用油を回収し、持続可能な航空燃料（SAF）に作り変える取組みを開始

飲食店やご家庭で発生する廃食用油を回収し、持続可能な航空燃料（SAF）に作り変える取組みを6月下旬より開始。一般家庭の廃食用油を回収できるスキームは限られており、ラストワンマイルを強みとする自社配達網を活かせる取組み。



### ◆ 環境：気候変動対策

#### 配達車両としてEV軽自動車を導入

温室効果ガス削減の取組みとして、2023年11月より配達用にEV軽自動車を導入。ガソリン車と比較し1台あたり60%の温室効果ガス削減を見込む。今後はEVトラックや新たな配達ツールの開発も併せて、順次導入を進める。



### ◆ サプライチェーンマネジメント：持続可能な物流

#### 樽詰商品小容量化の推進

配達を担う当社グループ特有の課題が配達人財の多様化。

重たい商品の代表である生ビール等の樽詰商品を、小容量の規格に切替えていただくことで、当社はもちろん飲食店においても多様な人財の活用が可能となる。



### ◆ 人財：ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン

#### 多様な人財が活躍できる職場環境づくり

第1ステップとして「女性活躍推進」をテーマに、誰もが働きやすく、多様な人財が活躍できる企業を目指す。

#### 各種研修の実施

- ・役員向けDE&I研修
- ・キャリアデザイン研修 等

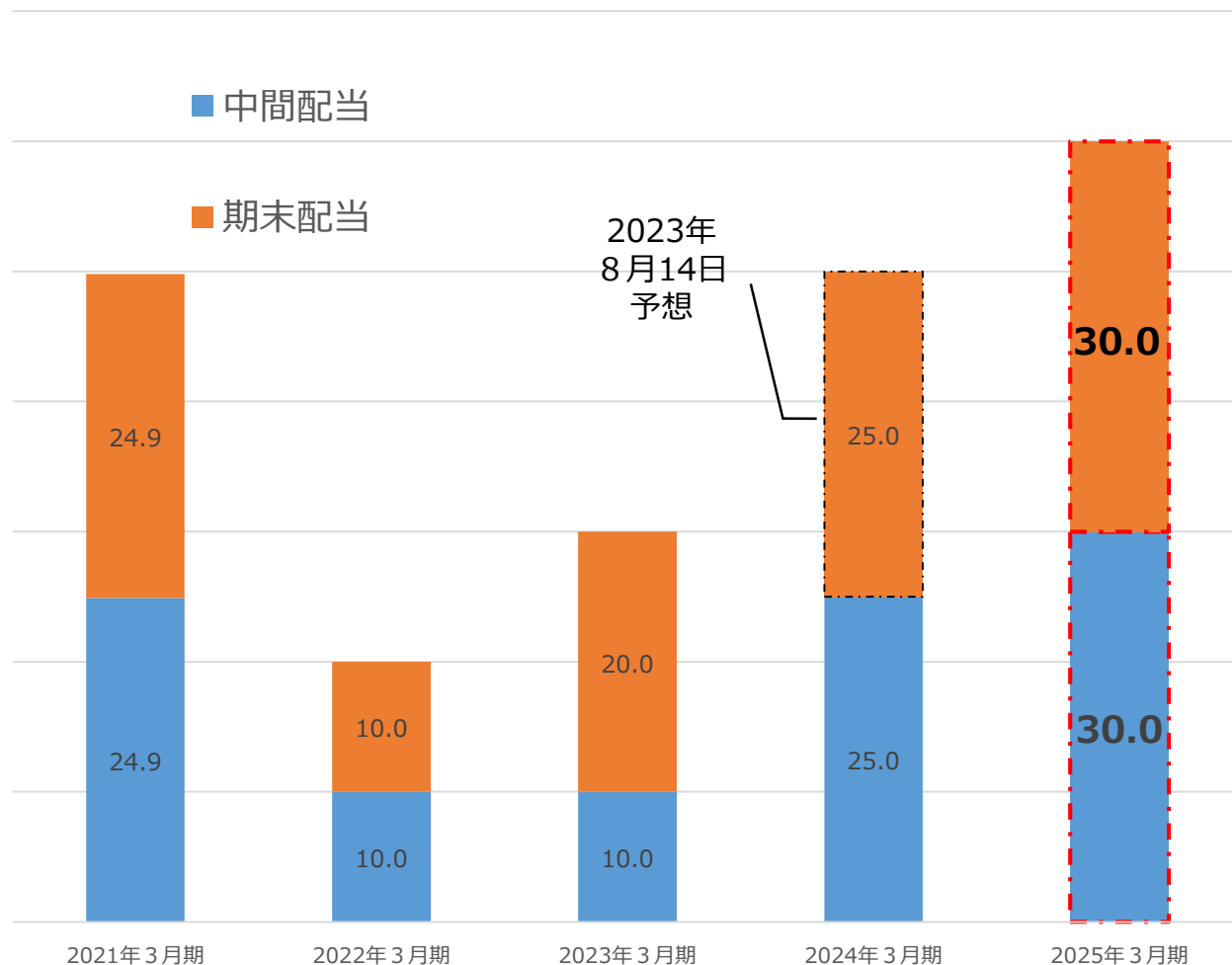
#### 制度改定

- ・男性育休制度の見直し
- ・副業制度の規程変更 等

## 6. 2025年3月期配当予想

## 6. 2025年3月期配当予想

### ◆ 2025年3月期配当は増配を予想。



- 当社は、経営成績に応じた株主への安定した利益の還元を継続的に行うことを基本方針としております。
- 2025年3月期業績予想は増収増益を予想していることに伴い、配当につきましても増配。

1株当たり配当金（予定）		
中間	期末	年間
30円	株式分割後10円	—
	株式分割前30円	60円

※2024年10月1日を効力発生日として1：3の割合で株式分割を行う予定であるため、株式分割前後の影響を考慮した金額としております。

# APPENDIX

## ■ 報告セグメントの変更について

- 事業活動の実態を適正に評価できるよう経営管理区分を4セグメントへ見直し。
- 2025年3月期第1四半期決算発表より変更。

旧報告セグメント		新報告セグメント	内容
酒類販売事業 (売上区分)	飲食店向け	時間帯配達事業	小型出荷倉庫（SS：サテライトステーション）等から個人飲食店や一般消費者、一般法人向けに時間帯で配達する事業
	宅配		
	店頭	ルート配達事業	配送センターから全国飲食チェーン、ホテル・レストラン等ルート配達する事業
	卸その他	店頭販売事業	一般消費者向けの店頭での販売をする事業
		その他	E C事業、他酒類販売者への卸等

## ■ 株式分割について

- 株式の流動性を高めるとともに、投資家層の拡大を図るため、2024年10月1日を効力発生日として、1 : 3の株式分割を実施予定。

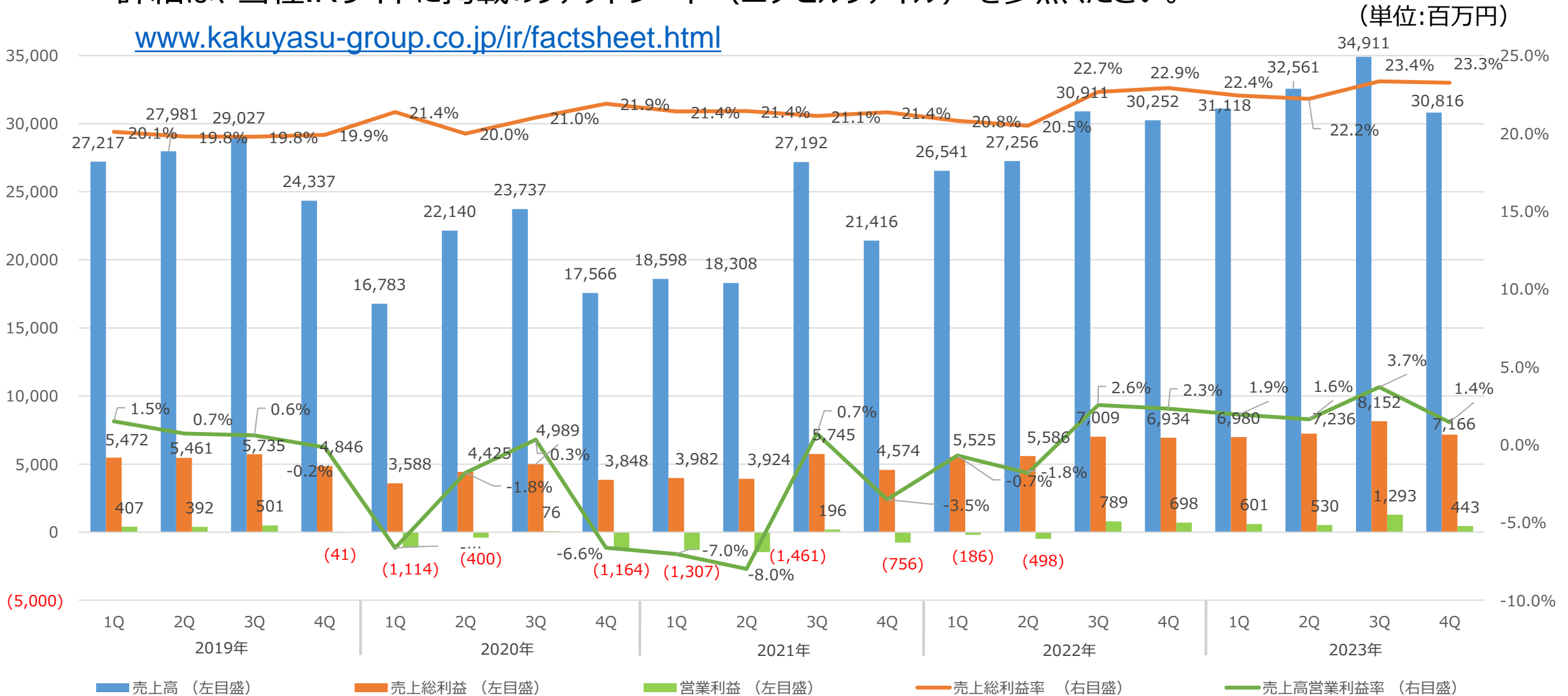
	株式分割前	株式分割後
発行可能株式総数	20,000,000株	60,000,000株
発行済株式総数	9,656,700株	28,970,100株

※詳細については、2024年5月15日公表の適時開示資料をご参照ください。

# ■ 四半期毎売上高、売上総利益、営業損益の推移

- 詳細は、当社IRサイトに掲載のファクトシート（エクセルファイル）を参照ください。

[www.kakuyasu-group.co.jp/ir/factsheet.html](http://www.kakuyasu-group.co.jp/ir/factsheet.html)





## ■ カクヤスグループ 拠点数推移

グループ合計	21.3期	22.3期	23.3期	24.3期			
	3月末	3月末	3月末	6月末	9月末	12月末	3月末
小型倉庫	32	50	53	54	55	60	<b>64</b>
店舗	183	185	177	175	175	174	<b>175</b>
配送センター	14	13	13	13	13	15	<b>15</b>
合計	229	248	243	242	243	249	<b>254</b>

※拠点の増減は、移転や名称変更も伴う

首都圏合計	21.3期	22.3期	23.3期	24.3期			
	3月末	3月末	3月末	6月末	9月末	12月末	3月末
小型倉庫	30	46	49	49	50	53	<b>55</b>
店舗	162	164	156	155	155	157	<b>158</b>
配送センター	11	10	10	10	10	11	<b>11</b>
合計	203	220	215	214	215	221	<b>224</b>

関西計	21.3期	22.3期	23.3期	24.3期			
	3月末	3月末	3月末	6月末	9月末	12月末	3月末
小型倉庫	2	3	3	3	3	3	<b>5</b>
店舗	10	10	11	11	11	11	<b>11</b>
配送センター	1	1	1	1	1	1	<b>1</b>
合計	13	14	15	15	15	15	<b>17</b>

九州計	21.3期	22.3期	23.3期	24.3期			
	3月末	3月末	3月末	6月末	9月末	12月末	3月末
小型倉庫	0	1	1	2	2	4	<b>4</b>
店舗	11	11	10	9	9	6	<b>6</b>
配送センター	2	2	2	2	2	3	<b>3</b>
合計	13	14	13	13	13	13	<b>13</b>

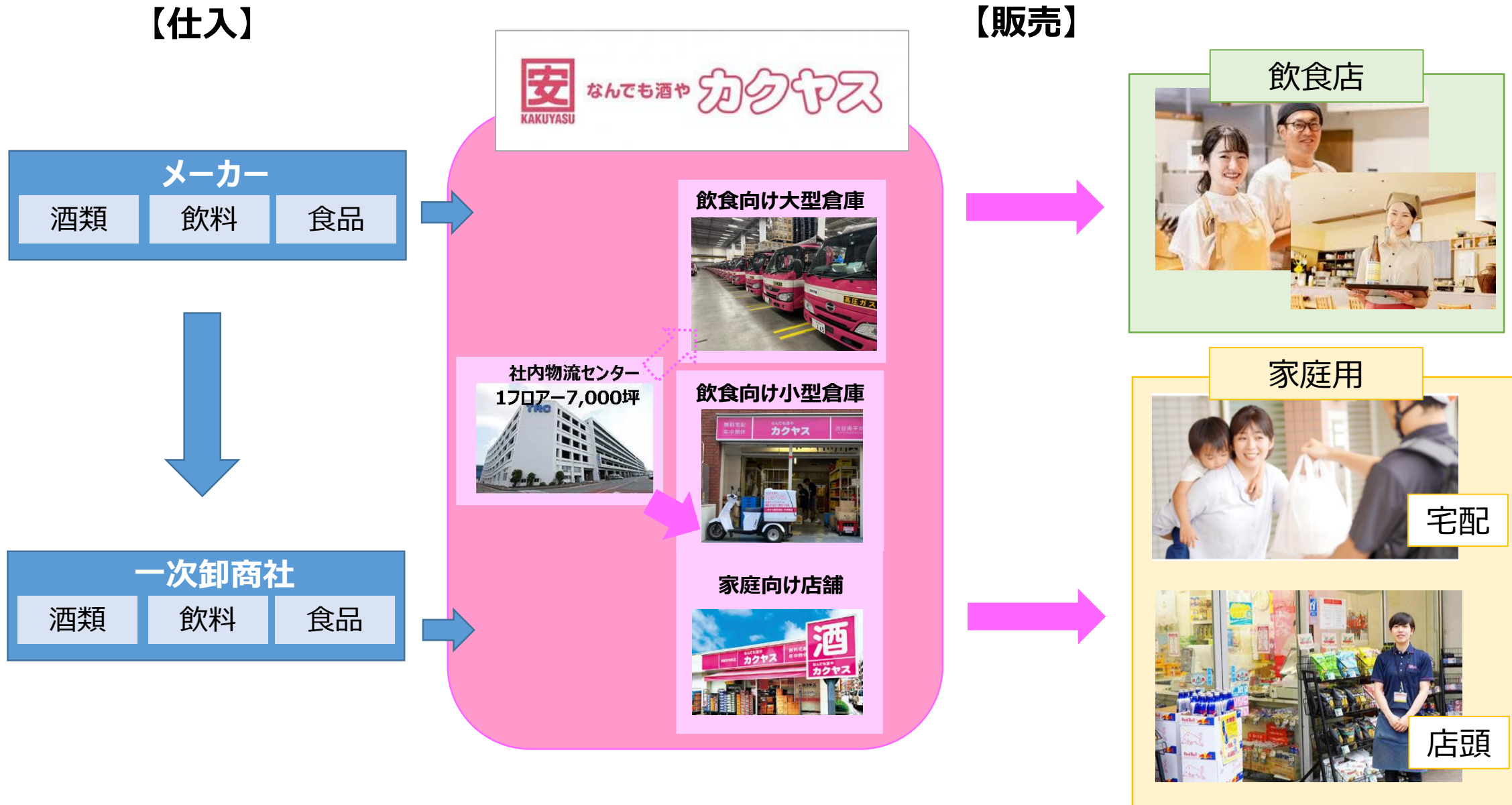
# 会社概要

## ■ 企業情報

(2024年3月31日現在)

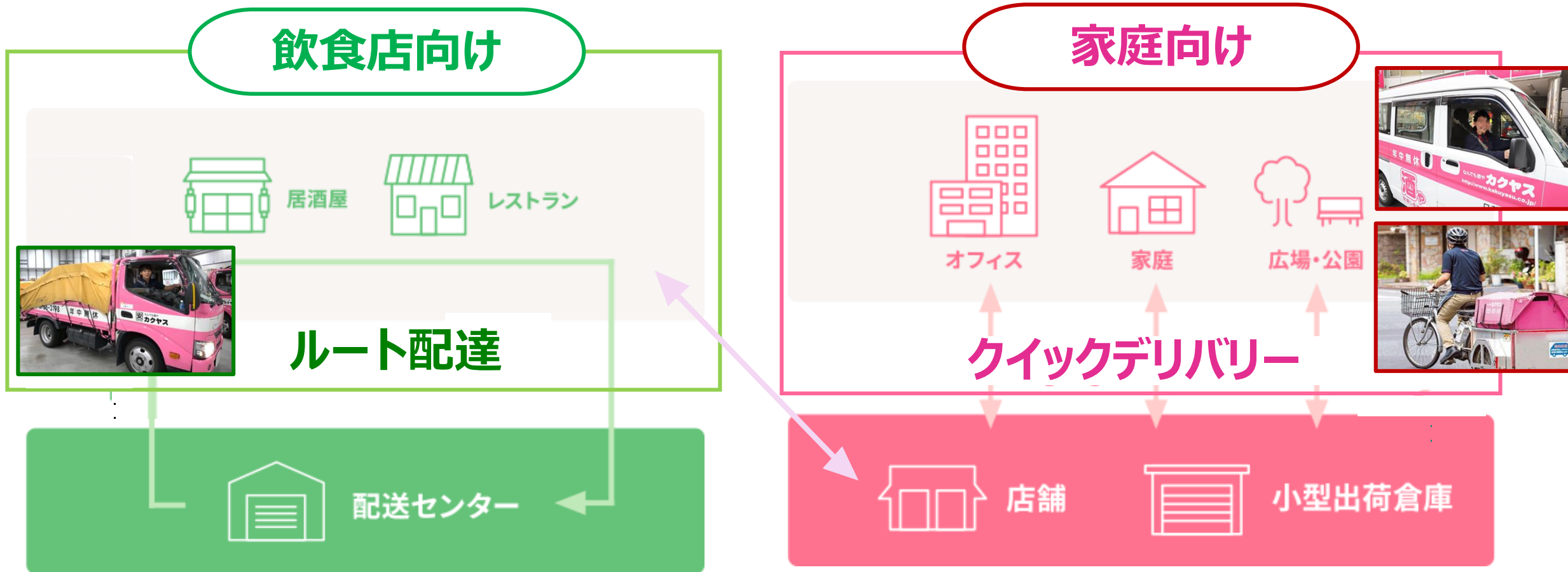
社名	株式会社 カクヤスグループ (Kakuyasu Group Co.,Ltd.)
証券コード	7686 (東証 スタANDARD市場)
代表者	代表取締役会長 佐藤 順一 代表取締役社長 前垣内 洋行
本社所在地	東京都北区豊島
設立 (創業)	1982年6月15日 (1921年11月)
資本金	64百万円
売上高	129,406百万円
従業員数	1,804名 (役員除く、連結)

# ■ 商流（仕入と販売）



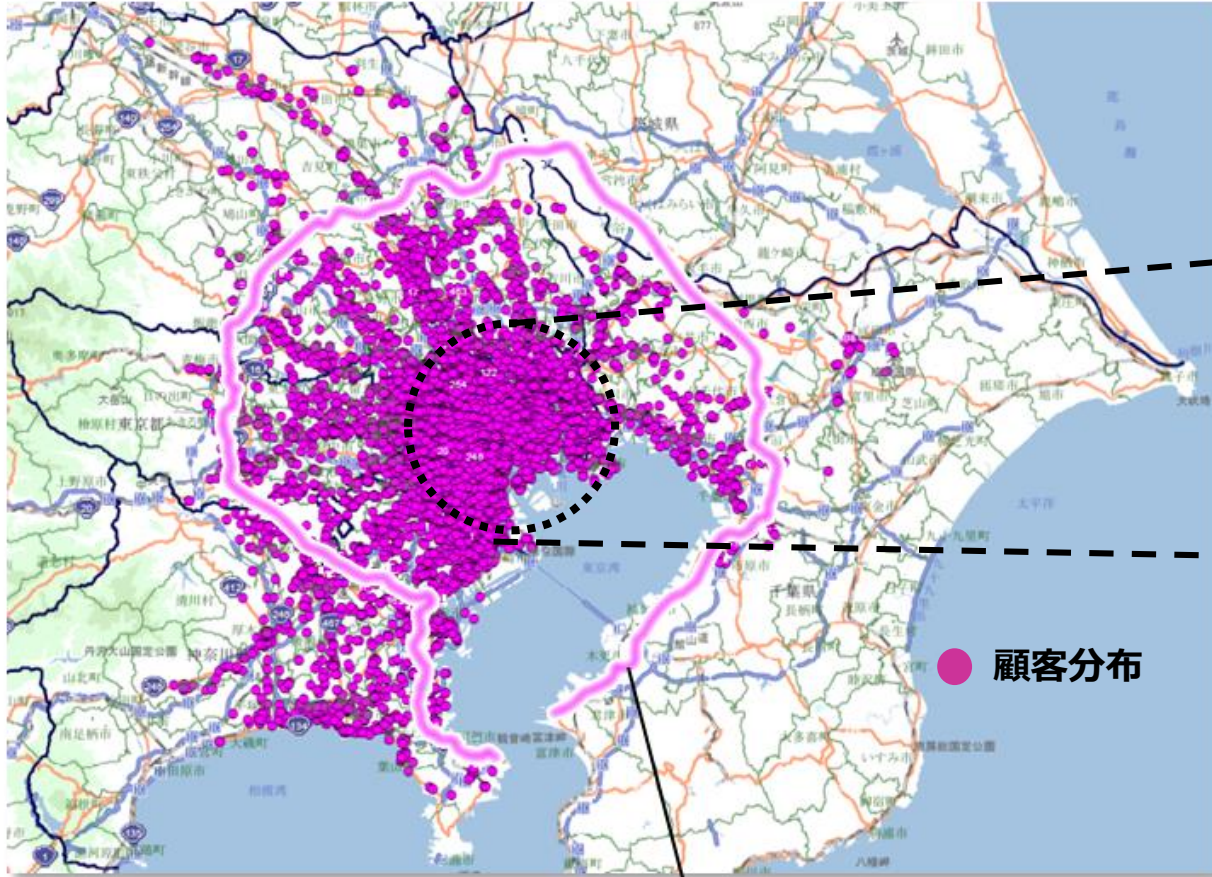
# ■ 事業モデル（配達サービス）

- 飲食店向け・家庭向けにおける様々なお客様のニーズに対して、きめ細かく且つ、フレキシブルな配達サービスを提供
- 花見やパーティーなど、屋外の公園やバーベキュー場などにも配達しております。



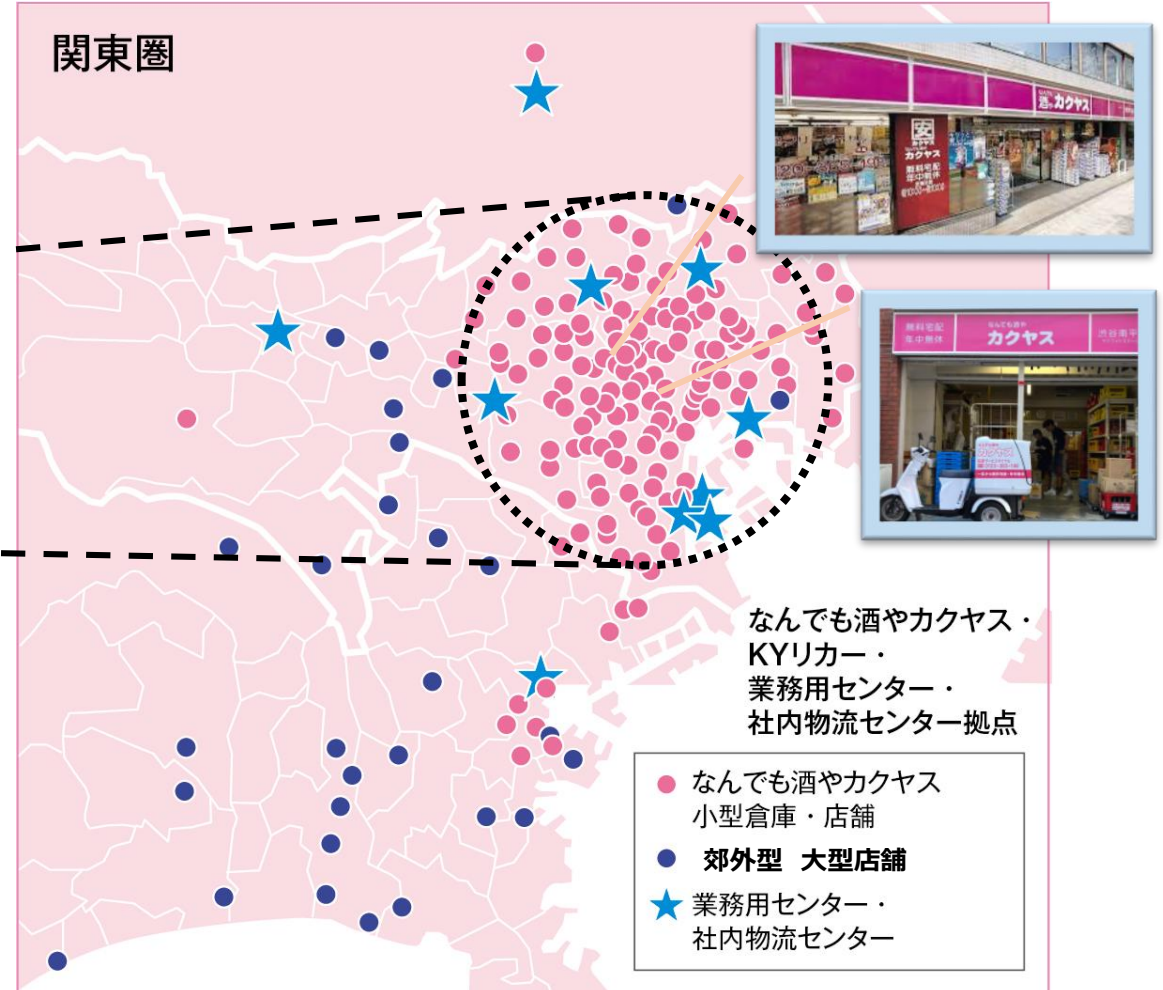
# ■ 事業モデル（配達サービス）

## 首都圏の 配送先顧客分布 | ルート配達のエリアイメージ



国道16号線

## 首都圏の 出荷拠点 | クイックデリバリーのエリアイメージ



# ■ 展開エリア

※2024年3月末時点 全**254**拠点

関東		224	拠点
関西		17	拠点
九州		13	拠点

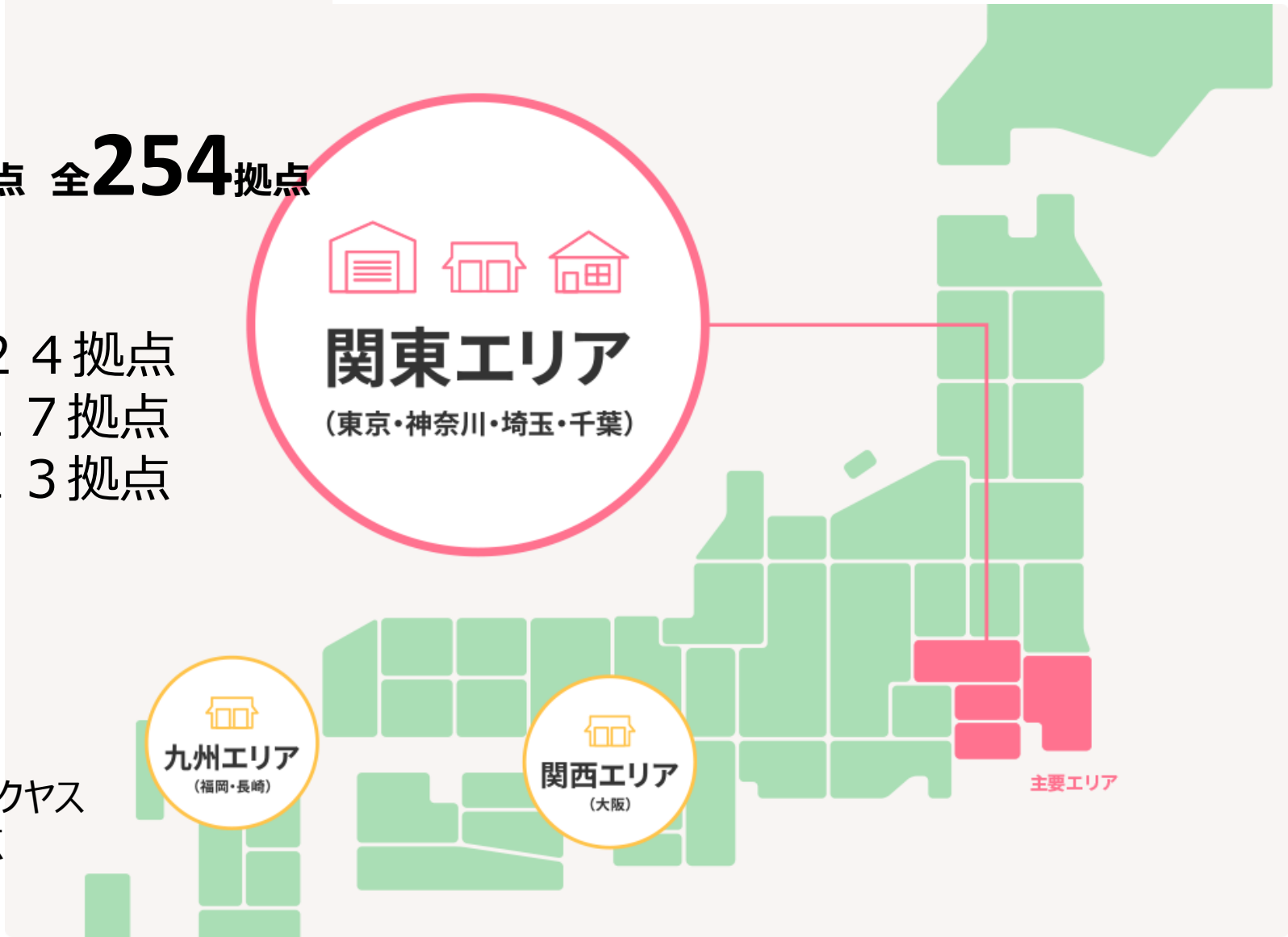


なんでも酒やカクヤス  
| 166 拠点

  
**九州エリア**  
(福岡・長崎)

  
**関西エリア**  
(大阪)

  
**関東エリア**  
(東京・神奈川・埼玉・千葉)





## 注意事項

本資料は当社についての情報提供を目的とするものであり、当社株式の購入や売却等の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定はご自身の判断において行っていただくようお願いいたします。

資料の内容については、現在入手可能な情報から説明しておりますが、事業環境が大きく変化することも考えられます。

従いまして、これらの内容はリスクや不確実性を含んでおり、将来における実際の業績は、様々な影響によって大きく異なる結果となりうることを、あらかじめご承知おきください。

お問い合わせ先

株式会社カクヤスグループ  
グループ経営戦略部

[ir@kakuyasu-group.co.jp](mailto:ir@kakuyasu-group.co.jp)

<https://www.kakuyasu-group.co.jp/>